

Stage Up

ステージ・アップ
VOL.190
2013年2月1日
(隔月発行)

ホームページからも
ご覧いただけます!

もくじ

- 2 まち・ひと・多面体
- 3 シニアのパレット
- 4 特集
- “川崎ふるさとの小径”を歩いて
—その2—
- 6 施設めぐり
- 7 情報ポケット



シリーズ《市内美術館・博物館とその所蔵品から》
田中久重作 「万年自鳴鐘(万年時計)」 東芝科学館

誌
上
ギ
ャ
ラ
リ
ー

東芝科学館は『人と科学のふれあい』をテーマに一九六一年(昭和三十六年)に開館しました。各階は、1階「環境エネルギー」2階「デジタル技術・映像」3階「歴史／半導体・医用・あかり」で構成されています。東芝の創業者とされる田中久重は天才機械技術者、からくり儀右衛門と呼ばれました。一八五一年に完成した万年時計は国の重要文化財に指定されています。

所在地・川崎市幸区小向東芝町1
JR川崎駅からバス「東芝科学館前」下車
電話：044-549-2200



発行・(公財)川崎市生涯学習財団

〒211-0064 川崎市中原区今井南町514-1
TEL 044(733)5560(代) / FAX 044(739)0085

<http://www.kpal.or.jp/>
ステージ・アップ TEL 044(733) 5811
E-メール: stage-up@kpal.or.jp

当財団は市民の主体的な学びと活動を支援するための諸事業を推進しています。

まち・ひと・多面体

耳を傾けたい“心の言葉、心の叫び”

～第50回 川崎市内高等学校 定時制 生徒弁論大会から～

川崎市内には市立高校5校全校と、県立高校2校(川崎・向の岡工業)に定時制課程があります。毎年9月の第2週の水曜日、定時制課程の高校生が一堂に会して弁論大会が開かれています。中学校を卒業したばかりの1年生から、社会に出て数年を経た社会人兼高校生まで、年齢、経験の幅の広い人たちが集まって、それぞれの体験に基づいた思いを熱く語ります。

各地から集団就職列車に乗って工業都市川崎にやってきた戦後の若者たち、アルバイトをしながらそれぞれの夢に向かって歩む現代の若者たち・・・、時代は移り、生活の形もそれぞれですが、みんな精一杯生きてきました。好評と高評を得て50回、定時制高校弁論大会の今に取材しました。

会場の心ひとつに

平成24年9月12日、川崎区富士見の教育文化会館の大ホールには、市内公立高校定時制課程に学ぶ生徒の若いエネルギーが満ちていました。

一部の高校を除いて全校生徒が参加、聴衆の中には西中原中学校の夜間学級(Stage Up179号に掲載)の生徒の姿もありました。

開会前のざわめきは弁論の開始と同時に消えて、咳払いひとつ聞こえないほど静かになりました。働き学ぶ仲間の真剣な訴えは、たとえそれぞれの境遇が異なるろうと、我がことのように聴衆の心に響きます。会場に集まったすべての人が、弁士の思いに共感し、共鳴し、感動するという貴重な時間を共有していたようです。

夢を語り、決意を語る

弁士は基準弁論を含めて15人、1人6分という制限時間があるという間に過ぎていきます。全員が折り目正しく立派な態度で、正面を向いて堂々と弁じます。それぞれの弁論は、自分なりの心の整理、覚悟がなければ語れないものばかりです。その一部を紹介します。

■小学4年生のころ親の離婚によって姓が変わった自分に同級生の“無視”といういじめが始まる。担任は見て見ぬふり、親は気づきもしない。そんな中で進級したが、たった一人「おはよう」と声をかけてくれた級友によって自分は救われた。

■父方、母方の祖父の大病を経験し、何としても生死と向き合う仕事に就きたい、看護師になりたいと挑戦する決意をした。私は夢をあきらめない!



■「出来損ない!死ねばいいのに」と言う母の言葉と暴力が当たり前の日々。裸足で家を逃げ出し、友達の家で過ごした1年間。一時は無気力な日々を過ごしたが、演劇部の仲間を支えられて徐々に立ち直った……。

■幼少期は入退院の繰り返し。自分のために力を貸してくれた友達の支え、励ましが挑戦する力をくれた。障がい乗り越え、前に向かって生きる勇気がわいた。

■学びながら働く日々、今はバイク店の支店長。新入社員を育てることも含めてすべてが自分の責任。失敗しても人のせいにならず、責任を果たしたい。いつか自分の店を持つのが夢!

■学校と空手の両立。その重荷に挫折しかかったことも。しかし、家族・友人・恋人・空手の先生や学級担任に支えられて勉強を頑張り、空手でもアジア大会3位に。夢は“型”競技の世界チャンピオン。

■アスペルガー症候群という障がいがあったり多くの人とトラブルが続き、死にたいほど苦しい思いもした。親や友達の支えによって障がいのある自分を語る勇気を得た。福祉の仕事に就いて今度は苦しむ人を助けたいという夢を持つようになった……。

この思い、受け止めたい

定時制高校生の弁論大会では、年齢を超えて勉学と仕事に励む人、様々な挫折や壮絶な体験を乗り越えて頑張る若者たちの生の声にふれることができます。“一般席”も多数用意されています。毎年9月の第2水曜日に開催される大会で、高校生の声に耳を傾けてみませんか。



弁士たちは一人ひとり、自身の内面や障がい、家族やかかわってきた人たちとの関係に深く踏み込んで語っています。今回は当方の判断で個人名の記載、個人が特定できる写真の掲載をしていません。

シニアのパレット

ヤマユリ植栽の取組

—麻生ヤマユリ植栽普及会の活動から—



周辺地域にユリが咲き乱れていたことが地名の由来ともされる麻生区百合丘から岡上(おかがみ)にかけて、ヤマユリの植栽に汗を流している人たちがいます。

この地域に自生していたヤマユリは宅地の造成などで環境が激変、すっかり消えてしまいました。麻生ヤマユリ植栽普及会は「麻生区地域課題対応事業」の一環として区の委託を受け、それぞれの地区で活動している他の市民団体等と協働して、麻生区内の緑地の整備、ヤマユリの復活再生を目指して活動しています。23年度の活動日数は年間約50日、延べ参加人数は200人を超えました。“里山から庭先まで”ヤマユリが咲き誇る日に思いを馳(は)せて頑張る人たちの活動を追いました。

5月末の日曜日、新百合ヶ丘駅北口近くの「おやしろ公園」で植栽作業が行われていました。ここは新百合山手公園管理運営協議会との協働作業、1メートル近くまで育ったヤマユリの周辺整備を進めます。ヤマユリは雑菌に侵されやすいデリケートな花、その茎に触れないよう丁寧に下草を刈るのです。



「7月にはきれいな花が咲くでしょう」と話す普及会会長の貞本勉さんや運営協議会会長の早川良一さんの言葉をお聞きし、7月の開花が待ち遠しくなりました。



7月初旬豊かな香りを漂わせて見事に開花



6月中旬、小田急線鶴川駅で下車して、岡上の緑豊かな田畑を右手に見ながら25分ほど歩くと小高い山が見えてきました。そこが梨子ノ木(なしのき)緑地です。この日はNPO法人かわさき自然と共生の会(会長：鎌谷衛さん)と普及会が協働して緑地整備にあたっていました。ススキにからんだつる草を取り、茅(かや)ぶき小屋の屋根ふきに使うススキを育てるのです。もう一つの作業がヤマユリ植栽のための環境づくり、散策路周辺の下草などを刈り取っていきます。和光大学地域・流域共生センターの堂前雅史教授や学生さんたちも参加していました。

また一つ、市民の貴重な活動を知りました。

■問合せ：麻生区役所地域振興課ヤマユリ事業担当

☎ 044-965-5370

小・高・大学生とともに平和学習！

～川崎市平和館企画展 Plus Three “紛争と和解”の取組～



川崎市平和館では、様々な平和問題を扱ったパネル・映像展示や横田めぐみさんコーナーなどの常設展示のほか、年間を通して様々な企画展に取り組んでいます。平和館はわが国の、そして世界の平和について学び考える場、川崎市の誇る貴重な資料館です。

開館20周年記念企画展Plus Three～第1回～「紛争と和解」展を訪ねました。1階の展示スペースでは文教大学国際学部国際理解学科、立教大学竹中ゼミナール、フェリス学院大学国際交流学部の3大学がボスニア紛争、北朝鮮問題、カースト制度等を、貴重な資料と考察をもとに紹介していました。また、住吉高校は夏休みの課題として取り組んだ世界の紛争、難民問題について、麻生高校は選択学習「地球市民入門」で学んだ南アフリカの人種隔離政策(アパルトヘイト)とその後について、神奈川総合高校はグループ別学習で取り組んだスーダン・パレスチナ・チベットの問題について、学習の成果を展示しました。下小田中小学校が取り組んだ紛争を解決するためのロールプレイング実践レポートもユニークでした。



イベント「ユースと語る紛争と和解」から



7月21日の午後のイベントでは山田満早稲田大学教授を進行役に、パネル展示にも参加した文教大学と麻生高校が映像資料等の紹介をしながら学習の成果を発表しました。

文教大学の発表から、アフリカ大陸中部の国ルワンダや南東ヨーロッパの国ボスニアヘルツェゴビナの歴史、紛争の背景、想像を超える被害の実態などがよく分かりました。麻生高校の発表からは南アの歴史や人種隔離政策の実態、撤廃と和解に至る取組の過程が丁寧に紹介されました。

若者たちの真剣な発表を受けて、参会者からも熱心な質問や感想が述べられ、貴重な意見交流、平和学習の場になりました。



■問合せ：川崎市平和館 ☎ 044-433-0171

特集

“川崎ふるさとの小径”を歩いて - その2



改訂されたガイドマップ「川崎散歩ゆるり旅」が各区役所などで配布されています。

前号に続き、“川崎ふるさとの小径”取材紀行「その2」を特集します。川崎市内には“川崎ふるさとの小径”として散歩道・遊歩道が10コース整備され、ガイドブックや道標・絵看板、休憩所などが設置されています。そして、コースのそこそこで、地域ボランティアの方々が環境の保全、美化活動等に務めていらっしゃいます。今回の特集では、これら“川崎ふるさとの小径”から6カ所を選び、2号にわたってご紹介してきました。おだやかな日ざしの一日、ぜひ一度お訪ねください。

長尾の里めぐり

約5.5km 3~4時間コース



ドラえもん銅像が出迎えてくれる南武線宿原駅前がコースの始点です。商店街を100mほど進み、二ヶ領用水に沿って左折すると桜並木が続きます。12月の中旬のこの日は桜の幹に冬支度のコモが巻かれていました。用水の両岸には川崎市緑化センターがあります。上宿地蔵尊の脇の橋を渡り、住宅街を抜けて府中街道を渡ると急坂になりました。息を切らしながら振り返ると、東京スカイツリーがマッチ棒ほどの大きさに見えています。しばらく坂が続くそろそろ休みたいと思った頃、長尾山妙楽寺に着きました。アジサイが群生する寺として有名ですが、歴史も古く、この寺の前身である威光寺は850年頃の建立であったとされています。境内のみじが色づき、趣のあるたたずまいをみせていました。



長尾神社、五所塚第一公園と坂道を歩き、峠を下り始めた先に等覚院裏山の入口がありました。寺内の山道を下っていくと深い緑を背にして神木山(しほくさん)等覚院の本堂が見えます。山門は修理中のためにシートで覆われていましたが、左右の柱の間から仁王尊がにらみをきかせていました。ツツジ寺とも呼ばれているこの寺は、「緑を守る不動さま」でもあり、川崎市と緑地保全の協定を結んで周辺の景観と環境を守っています。

もと来た道に戻ると長尾小学校の銀杏が黄金色に染まって青空に映えています。道なりに進んで東名高速道路の高架を渡り、住宅の間の細道を行くと県立東高根森林公園北門に到着します。学術上価値のあるシラカシの原生林や、弥生時代から古墳時代にかけての



堅穴式住居跡が残るこの公園では、豊かな自然をより身近に感じることができるようにと、自然観察会が行われています。じっくり散歩しようと思ったら、半日かかるほどの広さです。

公園北門から緑ヶ丘霊園の入口までは2~3分で着きますが、霊園の中は広く、道の両側には等間隔に桜の木が植えられています。春には薄いピンクの花びらで空が見えなくなるのだろうと思うほどの桜並木です。作延(さくのべ)城址の石碑を見て津田山駅に到着、約4時間の散歩を終えました。



たちばなの散歩道

約5km 3~4時間コース

今回は、古代に想いをはせながらの散策となりました。田園都市線梶が谷駅から右にのびるコブシ並木の道を進み、途中を右に入った所に桜の葉の色づきが美しい梶が谷第1公園がありました。再び坂道に戻り上りきった所を左へ折れると橋処理センターの煙突が見えます。西福寺古墳は梶ヶ谷第3公園の中にあります。6世紀頃に築造された円墳で、昭和55年神奈川県史跡に指定されています。



住宅街の細い路地をさらに進くと市民プラザがあります。ホールや会議室、橋処理センターの余熱を利用した温水プールがあり、広い日本庭園の奥には茶室もありました。もと来た道を進むと五差路に出ます。角にはきれいに飾られたお地藏様が道行く人を見守っていました。第三京浜の防音壁沿いにも野仏があり、その先の高架を渡ると野川神社に着きました。1800年ほど前ここは墓地であったことが発掘調査で判明しているそうです。社の左坂を登ると影向寺(ようこうじ)に出ます。開創は740年頃といわれ、国の重要文化財である本尊の薬師如来像をはじめ、古文書、民俗資料などが数多く所蔵されているそうです。薬師堂の奥には樹齢600年の大銀杏が空に向かって大きく伸びていました。



ここから富士見台古墳へは能満寺経由の道とたちばなふれあいの森・たちばな古代の丘緑地に寄る道があります。今回はたちばなふれあいの森のコースをたどり、高津区市民健康の森を育てる会の人たちが里山ボランティアとして手入れをしているこの森は、夏には蛍が舞う公園として地域の人々に大切にされています。たちばな古代の丘緑地は、橋樹郡衙(たちばなぐんが)推定地で300年前の役所の一部と推定される遺跡が発見されたところです。

次に、中原街道を挟んで反対側の丘に登り富士見台古墳へ向かいます。この古墳と、橋樹(たちばな)神社には、日本武尊(やまとたけるのみこと)と弟橘媛(おとたちばなひめ)にまつわる話が伝えられています。橋樹神社の境内には山岡鉄舟の石碑もありました。丘の天辺に位置する子母口貝塚は約8000年前の貝塚跡です。公園内の説明表示で、縄文土器の破片や動物の骨など当時の生活が垣間見えると共に、この辺りまで海が迫っていたことが分かりました。木々の間から武蔵小杉の高層ビル群が見えます。古代にタイムスリップした散歩もここで終わりました。



多摩川の散歩道 ~大師道よりリバーサイドコース~

約6km~8km 4~6時間コース



12月初旬。この日は曇天で冷気に包まれていました。川崎駅東口を出て、さいか屋前の新川橋通を歩き、小土呂橋交差点を左折。この道はいさご通り(旧東海道)です。川崎宿は砂子の名のとおり、海に近い砂地の低地に盛土をして生まれた宿場だったのです。川崎信用金庫本店角にその地が生家であった詩人



佐藤惣之助の詩碑があります。「青い背広でここも軽く……」と刻まれています。これからの小径散歩に弾みがつきました。

市役所通を横切ると歴史ガイド「旧東海道・川崎宿」の案内板。この宿場は350軒の旅籠や商家が1,400mにわたって軒を連ねていました。左手奥には江戸時代閻魔(えんま)信仰で賑わったとされる一行寺が。この宿場町は1761年の宝暦の大火で全焼。それ以前の文献はすべて消失したとのことです。

田中本陣跡に立てられた田中休愚(きゅうぐ)の足跡などを胸に刻みながら多摩川べり六郷の渡し跡へ。明治天皇六郷渡御碑にはその様子を伝えるレリーフも。さらに碑の横には長十郎梨のふるさとと書かれた立て札もありました。旧東海道沿いは歴史の宝庫、興味は尽きません。あつという間に1時間余が経過しました。そして大師道へ。



万年横丁は川崎大師に参る市民の通り道。左に京急大師線港町駅を見ながら進み、左折して線路をくぐると国登録有形文化財の川崎河港水門が見えてきます。第一次世界大戦景気の中で工場用地拡大を企図に完成(1928年)したこの水門、戦局の悪化から1943年には廃止されました。まさに「兵(つわもの)どもが夢の跡」といった趣(おもむき)です。

コースからはずれて冷たい風が頬をなでる多摩川土手へ。味の素の巨大な工場群が切れるまで歩いて土手を下り、道を戻るように大師駅方向へ。駅前の若宮八幡の資料室で民具・農具等を見学した後川崎大師へ向かいました。境内には聖徳太子堂・八角五重塔・海苔供養碑・二ヶ領用水とつながるつるの池・虚子や芭蕉の句碑など見るべきものが多くあります。

境内奥の西解脱門から左へ。しばらく歩くと観音通り商店街。その名のとおり、商店街の先にあるのが1665年開創の石観音、地名観音町由来の古刹(こしゃ)です。

石観音から産業道路に出て再び多摩川土手へ。水(すい)神社に参り大師河原のバス停まで歩きました。その先が浮島、アクアラインの入口です。対岸に東京国際空港が見えました。



〈お詫びと訂正〉前号189号の「特集 ふるさとの小径を歩いて-その1 多摩自然遊歩道」の記事に至らない表現がありました。多摩美ふれあいの森・健康の森・鳥のさえずり公園等(通称「多摩美緑地」)一帯の保全・管理に行政と協働して取り組んでいるのは次の4団体です。○多摩緑地保全地区こもれびの会○多摩美みどりの会○麻生多摩美の森の会○多摩美公園管理運営協議会 以上、訂正してお詫びを申し上げます。

“川崎ふるさとの小径”には、前号と合わせて特集でご紹介した6コースの他に、次の4コースがあります。
◆東生田自然遊歩道(6.5km) 読売ランド駅前~八角堂跡~土淵不動院~根岸稲荷社~三峰神社~広福寺~天神社~生田緑地枳形山~飯室山~長者古墳群など ◆渋川・加瀬をめぐる散歩道(7.4km) 元住吉駅~渋川~二ヶ領用水~中原平和公園~夢見ヶ崎動物公園~さいわいふるさと公園など ◆多摩川のみどりと二ヶ領用水のルーツを訪ねる散歩道(6km) 稲田堤駅前~稲田公園~菅の渡し跡~二ヶ領上河原堰堤~宿原原堰堤~緑化センターなど ◆せせらぎと親子広場、文学碑、彫像を訪ねる散歩道(8km) 宿原原駅前~二ヶ領用水~緑化センター~岡本かの子碑~せせらぎと親子広場~等々力緑地(彫像「健康美」)など いずれも、半日かけて散歩するには最適のコースです。

施設めぐり

市内公的施設および当財団が管理運営する施設のご紹介

川崎市高齢社会福祉総合センター

川崎市多摩区長沢2-11-1 ☎ 044-976-9001
 JR・東急田園都市線・小田急線最寄駅からバス便あり
 「聖マリアンナ医科大学」下車

聖マリアンナ医科大学の向かい側にある本センターは、川崎市における高齢者保健福祉事業等の推進、高齢者の福祉に対する理解と市民参加の促進等を目的として昭和63年に定められた市の条例によって設置されました。

敷地内には人材開発研修センター・保健福祉研究センター・特別養護老人ホーム長沢壮寿の里の3施設があります。

「人材開発研修センター」ではホームヘルパーや介護支援専門職員等のスキルアップ研修、これから資格取得を目指す人の養成等に取り組んでいます。

「保健福祉研究センター」では高齢者や障害者の生活や福祉サービス等の理解、また、共に支え合う社会を目指してセミナーやイベントの開催、福祉用具の展示や介護に関するビデオの貸出し等、各種情報の提供、普及啓発事業に取り組んでいます。ご利用をお待ちしています。〈開館：平日の8：30～17：00〉

※「長沢壮寿の里」は高齢者への総合的な生活支援の窓口となる“地域包括支援センター”事業等に取り組んでいます。



向かって右：壮寿の里棟
 左：研修・研究センター棟



上：閲覧・貸出本コーナー
 右：福祉用具展示コーナー



宮前市民館

東急田園都市線宮前平駅下車徒歩10分 東急田園都市線宮前平駅・宮崎台駅・鷺沼駅・溝口駅、JR南武線武蔵溝ノ口駅・新城駅からバス便あり ☎ 044-888-3911

宮前市民館は宮前図書館との複合施設として1985年にオープンしました。以来、宮前区における生涯学習の拠点として、多くの市民の皆様にご利用されています。

当市民館の特徴は、中学生や高校生の活動を支援していることです。学校の垣根を越えて集まった中学生や高校生が、企画から当日の運営まで担って実施する中高生の文化祭「文化魂」のほか、宮前区の子育ての祭典「みやまえ子育てフェスタ」や、子どもからシニアの達人まで幅広い世代が遊びを通して交流する「夏休み子ども遊びランド」などのイベントでも中高生のボランティアが活躍しています。

《2月～4月の取組情報》

- ◆ 2月16日(土) 生涯学習交流集会「大人の文化祭」
 宮前区や市民館で活動している団体の活動発表
- ◆ 3月2日(土) 子育て支援啓発事業「未就学児の親と子が一緒に体操で体を動かそう」



大山街道ふるさと館

JR南武線武蔵溝ノ口・東急田園都市線溝の口駅下車徒歩7分
 東急田園都市線高津駅下車徒歩5分 ☎ 044-813-4705

大山街道ふるさと館は、今も江戸期の面影を残す町並みや、この地で育った芸術家や作家の足跡が残されている溝口・二子の街道沿いに、平成4年(1992年)にオープンしました。以来、当館はこの街道にかかわる様々な資料や作品の展示を行うとともに、郷土理解のための文化事業を実施してきました。

平成24年7月の企画展では地元生まれ育った故上田恒三氏(郷土史家)寄贈の史料を展示し、幕末から近代への移行期の溝口について上田氏の思いやふるさとの風景の一端を紹介しました。また、同10月にはガイドブック「訪ねて楽しい大山街道」の刊行記念シンポジウムを開催し、子ども大山街道探検クラブの児童2名を加えた5人による活気のある発表や意見交換が行われました。



ガイドブック「訪ねて楽しい大山街道」
 当館及び生涯学習プラザで発売中(1,000円)



ガイドブック刊行記念
 シンポジウム

平成25年2月には「地域から発信する絵とことばのカルチャー展」と題して当館で活動している団体の方々作品を展示します。

◇開館時間 9：30～21：30 (常設展示 10：00～17：00)

市内施設の各種取組と当財団が主催する講座等のご案内

情報ポケット

シリーズ 市内の短大・専門学校 “市民向け生涯学習の取組” ⑤

川崎市立看護短期大学

幸区小倉 4-30-1 (JR川崎駅西口から臨港バス 末吉橋下車徒歩3分) ☎ 044-587-3502

川崎市立看護短期大学は、川崎市立高等看護学院を発展改組して1995年に開学した男女共学の看護系単科短大です。皆様のための公開講座も開催しています。ご参加をお待ちしています。



2月16日(土)
受付/12:30

<公開講座> あなたの老後を健康に過ごすために Part2 ～肺炎を予防しよう



- 講座1 13:00～14:00 「肺炎とその予防」 講師/教授・学長 美田誠二
- 講座2 14:10～15:00 「健康と口腔のケア」 講師/川崎市歯科医師会副会長 遠藤慶一
- 講座3 15:10～16:00 「免疫力を高め感染症を予防する運動」 講師/教授 西端 泉



- 場 所：川崎市立看護短期大学
- 募集定員：100名まで
- 受講料：無料
- 申込方法：25/1/21(月)から電話・FAXで受付中(詳細はお尋ね下さい)
公開講座担当 ☎ 044-587-3500・FAX 044-587-3506

川崎市生涯学習プラザ

平成25年度 第I期陶芸教室 受講生募集のお知らせ



水曜受講生作品

1 募集コース

- ◆水曜コース 平成25年4月3日～7月10日(全12回)
 - ①手びねりコース 9:30～12:30
 - ③電動ろくろコース 13:30～16:30
- ◆土曜コース 平成25年4月6日～7月20日(全12回)
 - ②手びねりコース 9:30～12:30
 - ④電動ろくろコース 13:30～16:30

- 2 会場 川崎市生涯学習プラザ地下実習室 下記の住所
- 3 内容 土(菊)練り、成形、削り、絵付け、釉かけ 等
- 4 受講料 手びねりコース31,500円電動ろくろコース37,500円
(受講料に含まれるもの：粘土代・釉薬代・焼成料 等)
- 5 定員 手びねりコース各15名 電動ろくろコース各11名
- 6 申込方法 往復ハガキに住所・氏名(ふりがな)・連絡先電話・希望コース(曜日とコース名)を明記のこと。
- 7 申込締切 平成25年3月4日(月) **必着**
〒211-0064 川崎市中原区今井南町514-1
- 8 問合せ (公財)川崎市生涯学習財団 事業推進室陶芸教室担当
☎ 044-733-5893 FAX 044-733-6697



土曜受講生作品

パソコンセミナー受講生募集中!!

—少人数制、講師・補助講師による1回完結講座!—
パソコンの基本的な使い方から仕事や家庭生活に役立つWord・Excelの基本・応用操作など、個人の目的に合わせて受講できます。

- ◆デジタル画像編集：2/15(金)◆
- ◆インターネット/ブログ：2/22(金)◆
- ◆ビデオ編集：2/27(水)◆
- ◆Word中級：3/6(水)◆
- ◆Excel中級：3/13(水)◆



- ★受講時間・10:00～16:00 (昼休憩1時間)
- ★受講料・各講座1回5,000円
- ★対象・18歳以上 定員15人
- ★会場・川崎市生涯学習プラザ 3階研修室
川崎市中原区今井南町514-1
- ★共催・NPO法人RKH研究所
(公財)川崎市生涯学習財団

市民館等に(問合せ先)同事業推進室パソコン担当
詳細チラシあります! ☎ 044-733-5894

※4月～5月には初心者向け(全5回)も開催予定。

あ と が き

小誌の本号“シニアのパレット”で川崎市平和館を取り上げた。平和館は文字通り平和について考え学ぶ市内の拠点施設である。市内では他にも戦争・紛争の悲惨さ、平和の尊さを問う市民の取組が様々な形で行われている◆昨年末、高津市民館ギャラリーで全国強制抑留者協会主催の展示会が開かれた。展示会の実行委員長遠藤尚次さん(87歳 高津区久地)は昭和24年5月に帰国するまでの3年半余、厳寒の地シベリアで過酷な労働を強いられる抑留生活を送った。これまで厚生労働省の埋葬地調査、遺骨収集等で公私合せて30数回シベリアを訪れている◆会場で自ら撮った写真や身に付けていた外套(がいと)等貴重な展示品を前に熱く語る遠藤さんの姿に心を打たれた◆時は流れる。しかし、決して流し去ってはならないものがある。語り継ぎたいことがある。



かわさき市民アカデミー

2013年度 前期受講生募集のご案内

かわさき市民アカデミーは、川崎市が全国に誇れる“市民大学”です。1993年の創設以来、市民が生涯にわたる学習と社会参加を通じて積極的に生きることを支援し、活力ある地域社会の創造をめざす市民のための学習機会を提供してきました。21年目となる2013年度前期も26の講座、13のワークショップ、2つの短期集中講座、5つの地域協働講座を開設します。

この春、新しい学びに挑戦してみませんか。

- ◆ **受講対象**：18歳以上の方（市外の方も受講できます。）
- ◆ **受講料**：2,100円～17,850円 ※ 講座・ワークショップによって異なります。
- ◆ **申込方法**：FAX、郵送またはホームページから。

- (1) 受講したい講座・ワークショップ名（複数受講可）
- (2) 名前（ふりがな）、生年、郵便番号、住所、電話番号、FAX番号

※ 今年度の募集は「2年会員」「1年会員」「聴講生」の3種類での申し込みになります。

2年会員が所属する専攻コースについては募集チラシまたはホームページをご覧ください。

◆ **申込締切**：会員・聴講生とも **2月15日（金）**

◆ **申込・問合せ**：NPO法人かわさき市民アカデミー

〒211-0064 川崎市中原区今井南町514-1（生涯学習プラザ3階）

FAX 044-722-5761 ☎ 044-733-5590 ※ 電話は問合せのみ可。

ホームページ <http://npoacademy.jp/>

かわさき市民アカデミー

検索

〈受講の可否、受講手続き、郵便局での費用の払込等については、会員・聴講生ともに2月28日（木）頃までに文書でお知らせします。〉



地域協働講座「医療最前線」



（公財）川崎市生涯学習財団 平成25年4月採用 嘱託(非常勤)職員を公募します！

- 1 **募集内容** 嘱託(非常勤) 職員 若干名(男女問わず)
- 2 **業務内容** 庶務・経理、施設管理・運営・広報等の財団事務(パソコン操作のできる方)
- 3 **勤務場所** 財団本部(生涯学習プラザ)、または、指定管理施設
- 4 **勤務条件**

- (1) 勤務形態：シフト勤務で週4日(土・日、休・祝日を含む)
- (2) 勤務時間：1日7時間15分(8:30～16:45を基本とし、月数回13:00～21:15の遅番勤務あり)
- (3) 給与等：社会保険(健康保険・厚生年金・雇用保険)に加入。給与は月額17万円。通勤費相当額別途支給。
- (4) 雇用期間：平成25年4月1日から平成26年3月31日まで ※勤務成績により年度ごとに上限4回までの更新あり
- (5) 休暇：「公益財団法人川崎市生涯学習財団嘱託職員就業規程」による。

- 5 **応募方法** ①財団ホームページの履歴書様式等をプリントアウトするか市販の履歴書に記載の上、写真を添付し ②「川崎市生涯学習財団志望の動機」を800字以内で作文し(表題・氏名を含む) ③平成25年2月12日(火)までに届くように持参、または郵送。(2月10日の消印有効)

※ 応募用紙は返却しません。応募者の個人情報厳重に管理し、採用選考以外には使用しません。

- 6 **採用までの流れ** (1) 作文と履歴書で選考し、面接者を決定 (2) 面接：平成25年2月21日(木)予定 (3) 合格者決定、通知 (4) 平成25年4月1日採用

◆ **問合せ先・応募書類提出先** 〒211-0064 川崎市中原区今井南町514-1 川崎市生涯学習プラザ

(公財)川崎市生涯学習財団総務室 職員採用担当 ☎ 044-733-5560

